

会 議 録

会議の名称	平成21年度 第1回行田市資源リサイクル審議会
開催日時	平成21年6月23日(火) 開会：午後1時30分・閉会：午後3時30分
開催場所	行田市役所 203会議室
出席者(委員)氏名	野村正幸委員 大久保忠委員 市橋佑介委員 相原香保留委員 堀口信次委員 宮川圭子委員 藤岡輝男委員 白井裕泰委員 藤間純子委員 川崎道賢委員 宮田淑尚委員 長谷川由美子委員 浅井邦生委員
欠席者(委員)氏名	
事務局	宮崎環境経済部長 小林環境課長 竹井副参事 篠原主査
会議内容	1 ごみの現状について 2 その他
会議資料	・ 諮問書 ・ 環境法体系について (資料1) ・ ごみ収集地区別図 (資料2) ・ 行田市 ごみの出し方 (資料3) ・ ごみ排出量の推移 (資料4)
その他必要事項	傍聴人なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱状交付</p> <p>3. あいさつ</p> <p>4. 自己紹介</p> <p>5. 会長、副会長の選任</p> <p>6. 行田市からの諮問</p> <p>議事</p>
会長	<p>それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。議事がスムーズに進みますよう、委員皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>初めに、会議の公開、非公開についてですが、公開、非公開は附属機関等の判断により行うべきものとされておりますので、本審議会においての公開、非公開を決定する必要があります。いかがいたしましょうか。</p> <p style="text-align: center;">（公開でよいとの声あり）</p>
会長	<p>それでは、本審議会は会議を公開といたします。傍聴する方はおりますか。本日は傍聴人がおりませんので、会議録の公開のみとさせていただきます。</p>
会長	<p>それでは、（１）「ごみの現状について」事務局から説明をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">（事務局説明）</p>
会長	<p>ただいま、説明が終わりましたが、何かご質問はございますか。</p>

委員	<p>資源物排出量の数値について、平成 19 年度、20 年度と減っています。回収する立場の方から言うと、紙・布類の回収は土曜日という事が周知されていますので、テレビ、新聞で話題になっている持ち去りが多くなっています。市民からの排出量は変わっていないと考えられますので、これが、資源物の排出量が下がっている原因と考えられます。前の日に集積場に出されていても、次の朝回収に行くとなくなっていることがあります。前日の夜に出さないようにして、当日の朝に出すようにしたほうがよいと考えます。</p>
委員	<p>私の地区では、新聞等を前の日に持っていかれてしまいます。</p>
委員	<p>ごみの総排出量の推移ではごみの量は少なくなってきており、よくなってきたと考えていましたが、総排出量の減少は資源ごみが持ち去られているという事が考えられます。</p>
事務局	<p>資料 4 のごみの総排出量の推移には資源物の排出量も含まれているので、総排出量の減少は資源物の持ち去りも原因の一つと考えております。</p>
事務局	<p>資源物の持ち去りが多いので、今年 5 月の衛生協力会の総会において、すべての衛生協力会長に周知の文書を送付しています。</p>
委員	<p>資源物の持ち去りは業者が持っていくのですか。</p>
委員	<p>資源物の持ち去りは、市内の業者でなく、他市町村のちり紙交換とか、会社組織でない業者が行っています。</p>
委員	<p>私の地区では、不要な物を無料で持っていく業者がいて、古紙など資源物をかなり頻繁にトラックで回りながら取りに来ています。その際、連絡先を書いた紙を置いていきますが、その連絡</p>

委員	<p>先も鴻巣市など市外の業者で、携帯の電話番号が書いてあります。あとは小中学校で集団回収している物も多いと思います。</p> <p>向町のコンビニエンスストアでは毎朝 8 時くらいに、駐車場に収集のトラックが止まっています。もしかしたら、資源物の持ち去りを行なっている業者はそのような人たちなのではないでしょうか。</p>
委員	<p>紙・布は、土曜日に回収しています。他の曜日についてはビン・缶も持ち去りがありましたが、海外に輸出できるようなものも出ていますので、そういったものを早くきて漁っているということもあります。</p>
委員	<p>リサイクル・資源物は市場の価格との連携で、価格が高くなってくるとそういう悪質な連中が増えてきています。価格が下がってくるとそういう傾向が少なくなってきました。経済情勢との関係も出て来ていると考えられます。</p>
委員	<p>紙・布は土曜日の朝に出す。前の日の夜に出すということではなく、きちんと朝に出す。子ども会等のお母さん方が来てちゃんとやる。出し方を徹底する。そうではなく前の日に資源物を出すと、悪質な業者が早くきて、持って行ってしまいます。</p>
委員	<p>紙・布の回収が土曜日になっただけを説明させていただきますと、小学校や中学校が毎週土曜日休みになります。子ども会とか子どもの情操教育上、各家庭で分別して、それを親と一緒に指定した場所に出そう、そしてお金でもいいし、トイレットペーパーでもティッシュペーパーでも、それが家庭に戻ってくる循環スタイルを創ろう、そういう目的をもって土曜日にしました。ところが、親だけがリサイクルをやっています。土曜日の収集は小さい子どもから小学生や中学生が循環する資源物を知るという教</p>

	<p>育上の取り組みも考え土曜日に収集しようという事になりました。</p>
<p>委員</p>	<p>そのような、いきさつがあったとは知りませんでした。学校行事として年何回か廃品回収という行事がありますが、その時は子ども達で集めるという事は行なっていましたが、普通の土曜日の資源物は、そのようなことは知らないで出していました。私の地域は子どもがいないので、少しその意味が形骸化していると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>月に二回収集していますが、月に一回では溜まってしまうので二回になりました。地区の集団回収は年に数回しか行ないませんが、資源物収集は毎月二回なので、持続性があります。</p>
<p>委員</p>	<p>私も、このようになっていることは、初めて聞きました。</p>
<p>委員</p>	<p>子どもさんと資源物をリサイクルすることは、教育上いいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>土曜日の回収はそうになっていますが、家庭の都合で金曜日に出されてしまうことがあります。</p>
<p>委員</p>	<p>集積所に鍵をかけておいて、朝、衛生協力会が開けに来ると、前の日に集積所の周りに出されてしまった資源物があり、一時間以上整理するのに時間がかかるということで、鍵をかけることが出来なくなってしまいました。難しい問題で、鍵をかけるといいと一概にいいですけど、地域住民の事を考えますと、100%それが徹底できないというのが、実際に経験した結果でした。</p>
<p>委員</p>	<p>資源ごみ、特に紙類ですね。私どもの方では、中学、小学校の子ども会の役員が担当しますが、朝明るくなったら、新聞、雑誌、</p>

	<p>ダンボールと書いた看板を出します。それでも前の晩に置いていく人がいます。それだと子ども会の役員は二重の手間になります。</p> <p>当日に出すということを徹底させるため、何回も回覧板で知らせていますが、それでも若干出てしまいます。ある程度はやむを得ないと思われれます。子ども会や生徒会は年に二回ぐらい集団回収しています。私共も子ども会、生徒会へ差し上げて年間数万円になりますが、大変喜ばれています。表彰状をもらったこともあります。子ども会や生徒会が独自に回収しているものは、資源物の総量に含まれていないのですか。</p>
事務局	<p>子ども会や、生徒会のリサイクルは資源物の量に含まれていませんが、ごみゼロ運動や空き缶回収運動の収集量は反映されています。</p>
委員	<p>委員さんから土曜日に回収を行なっている経緯を伺いましたが。土曜日の回収を続けたほうがいいということですか。</p>
委員	<p>なんとか、子どもの教育と関連した回収方法が出来れば望ましいですね。子どもの意識が高まるような、発展的に考えられる方法があれば望ましいです。</p>
委員	<p>市民の方が、それなりの意識をもってやっているかということです。その時の人はいきさつを知っているが、今の人は知らない。もう一度そういうことで周知をやりなおす等、これから、どのようにしたらいいかということになると思います。</p>
委員	<p>小学生のお子さんやその下のお子さんがいたりすると、朝は大変忙しかったりします。おばあちゃんとかお手伝いする方がいればいいけれど、なかなか小さなお子さんと「朝一緒にごみを出しましょうね。」というのは現状では難しいようです。実際、もし</p>

委員	<p>私に小さい子どもがいて、出す場所が遠かったりすれば、少し難しいと思います。</p> <p>土曜収集について、子どもが出しているところは見ないのですが、お母さん方が土曜日ならば立ち会って、分別したり車に積みやすいように整理したり、そういったことがやりやすいです。それと、リサイクルの買上金が非常にありがたい。kgあたり3円で年に4回受け取りますけど、それが非常にありがたいです。</p>
委員	<p>今、学校で空き缶、スチールはともかく、アルミ缶を毎週金曜日集めています。5つか6つの小さいビニール袋に入れて通学時にもって行く子を見かけます。毎週金曜日という事で動いているようです。教育上は徹底されて来ていると感じます。学校の回収は資料の数字に反映されていないので、資料のリサイクルの数字がだんだん減ってきていることはどちらがいいのかよくわかりませんが、教育上はそういう動きでやっているところもあります。</p> <p>関連で質問しますが、資源物の持ち去りによって行政上の問題、経済的損失とかあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>まず業者が市民の資源物を回収します。業者がその資源物を売ることによって行田市に収入が入ります。その点において市の収入が減ります。地区としては資源リサイクル協同組合で計量した資源ごみに対してだけ、市からお金が出ることになります。持って行かれてしまいますと、その地区に入っていく買上金も少なくなってしまう。もうひとつとして資源ごみの所有権という問題も出てきますので、ごみとして出されたものに所有権があるかという問題があり、司法の判断が分かれています。はっきりした結論が出ていません。持ち去り条例を作っている市町村もあり、その資源物には市の所有権があるとし、その場合は警察が動く可能性があります。ただ、それについては、司法の判断も分かれて</p>

委員	<p>いて、今はまだはっきりしたことは言えないということです。</p> <p>行田の資源リサイクル協同組合に損失があると考えてよいですか。</p>
委員	<p>そういう事です。</p> <p>扱うものが少なくなってきたことは、専門の古紙業者には迷惑がかかっています。</p>
会長	<p>対策を取る必要がありますか、かなり深刻な問題ですか。</p>
委員	<p>場所によっては衛生協力会の役員の方が立会いしているところもあります。地区によって対応が分かれています。</p>
会長	<p>解決策を議論する必要がありますか。</p>
事務局	<p>今日は意見を出していただく場になりますが、今後の資源化や減量化の推進の中において、現状は、このような問題があるから、もう少し踏み込んで考えていただきたいというようなことであれば答申の中に入れていただければと考えております。</p>
会長	<p>この問題はこのような事でよろしいですか。他に何かございますか。</p> <p>ちょっとわからないことがございますが、事業ごみと家庭ごみの扱いはどのように違うか教えてほしいのですが。</p>
事務局	<p>事業系のごみは基本的に有料になります。どこの市町村でもたいていは有料になります。事業ごみというのはわかりづらいのですが、企業が出すごみ、これはすべて産業廃棄物だと思っている方が結構いますが、産業廃棄物は法律で決められていまして、それ以外が一般廃棄物となり、これは、市町村に処理する義務があ</p>

	<p>ります。その中で事業系のごみは、どの市町村でも有料でゴミを引き取っています。企業においても最近業績が悪化している関係から出すゴミがかなり少なくなってきました。もうひとつは、市町村がゴミをいくらで処理するかということですが、現状では業績が悪化した市内の企業にさらに追い討ちをかけるような上乗せをするのはいいか悪いかという問題で、今のところ行田市では現状維持という形です。</p>
<p>会長</p>	<p>ものつくり大学がどのようになっているか、聞いていないのでわかりませんが、帰ったらよく聞いてみます。</p>
<p>事務局</p>	<p>ものつくり大学のごみも木くずとかは産業廃棄物になりますが、そのほかの学生さんの出した紙くずとかは、小針で有料にて処分しています。</p>
<p>会長</p>	<p>わかりました。他にございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>行田市の焼却炉は古いと思いますが、代替という話も何年も前から出ていまして、いまだに実現となっていません。その辺でリサイクルに携わっていますから、私なりの考えですと、生ゴミはリサイクルできるもので、バイオマス、堆肥ではなく発酵させてメタンガスを発電とか循環型に持っていけるような処理の方法が望ましいです。行田市の生ゴミを焼却でない形に持っていくことによって、現在の焼却の場合は燃やすにあたって色々な助燃バーナー等を使い、環境に負荷をかけていますから、環境に負荷をかけない形での処理の方法が大切です。焼却するものが少なくなるから焼却炉も小さい、それで排出ガスも少なくなる。総合的に考えた施設に造り変えたほうが良いというのが、私の考えです。</p>
<p>会長</p>	<p>その点はいかがでしょう。現段階として、市の考え方は。</p>

事務局	<p>行田、羽生、旧南河原、旧吹上の4市町村で組合を作りまして、新しい焼却場を造るという話が何年前にありました。そのときに市町村合併の話が重なりまして、合併の組み合わせと、ごみの広域化の組み合わせがたまたま同じになってしまいました。合併の関係がうまくいかなかった時に、ごみ焼却場の建設も一緒に止まってしまいました。そういうことで昭和59年に造りました焼却場が20何年間そのまま動いております。新ごみ焼却場を造るにあたって、今後5年間程度はかかると考えられています。本来ですと2年ほど前に新しい焼却場、4市町村の新焼却場が出来るという方向に進むわけでしたが、それが出来るまでは、我慢しよう。ごみの燃やし方によって収集体制も全て変わってしまいます。そういう事があるのでそれまでは現体制を取ろうというわけに進んできたわけです。また、ごみ質の変化という問題が出てきまして、昔と違ったごみがかなり出ています。それによって収集方法とか収集体制とか現在の状況と合わない面が出てきましたので、このまま建替えなどの方針が決まるまでこの体制で持たせるということは、行田市の市民のサービスとしても難しい。そういう中で審議会を開きまして、今後のごみのあり方を、出させていただこうというのが審議会の内容となると考えています。</p>
会長	<p>そういう考えですね。他にございますか。無いようですので次に(2)その他について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>スケジュールについて説明。</p>
会長	<p>説明がありましたけれども、何かご質問はありますか。</p>
委員	<p>進んでいく方向性ということ、もう少しわかりやすく説明をお願いします。資源化とか減量化ということだと思われませんが、その辺をお願いします。</p>

事務局	<p>市の考えということもございしますが、市の考えだけでごみ行政を進めることは出来ません。市としては市民サービスを一番に考え、その中で予算等もありますことから、市としてできること、できないことも出てきます。燃やせるごみの収集回数で週5回というのは埼玉県でも一番でございします。ただこれが市街化区域だけという事で、調整区域の方は週3回となっております。そんな中、同じにしてほしいという話も聞いております。その他に、資源ごみについても現状でいいのかどうか。そういう問題もあると思います。それから、燃やせないごみとか、いろいろな話もありまして、市民としてこういうようなものをこういうようにして欲しい。行政として考えたものではなくて、市民として実際に暮らしている方のほうから、行なって欲しい内容を上げていただきたい。予算もありますからできる事、できない事がありますけれど、市民の目線でこういう様な事をするべきではないかという考えを出していただきたい。このように考えているところです。</p>
会長	<p>今ご説明にありましたが、諮問書にごみ処理のあり方とあり、その方向で議論を進めていきます。</p>
委員	<p>減量化の問題ですが、単に減量化だけで、一方的に進むことはベターなのか。小針の焼却炉についてもダクトをつけて高熱焼却炉で何とか維持させようと動いてきているわけです。その規模のもの建替が前提になっていれば、焼却炉を小型化に決めて、それに対する減量化だったらわかります。ここに単に減量化だけを進めて行って、後は市にお任せというのであればそれはそれでいいと思うのですが、その辺のところを計りながら、焼却炉の実態をとらえて進めていく必要というの、ある一面無視するわけにいかないのではという気がします。</p>
委員	<p>最初に減量化ありきでは無く、焼却炉の立替問題について大きな観点から考える必要があります。</p>

委員	<p>今の焼却炉もある程度のごみが無いと維持できません。火を絶やしてしまうと、火をつけて一定の温度に上げるまで時間がかかります。逆に今の焼却炉を保持するためには一定のごみが確保されなくてはなりません。</p>
会長	<p>時代の流れは CO2 の削減が大きい。それを考えるとどうしても減量化となります。減量化しないと CO2 の発生は抑えられないのではないか。単純に今いわれた問題もあると思いますが、大きな流れとしては減量化の方向ではないかと思います。これもまた議論しなければならないと思います。</p>
委員	<p>もうひとつはごみの質・量が 10 年、ないしは 15 年で変わってきています。これは誰がやっても読めないと思います。われわれも 10 数年前にいろいろな議論をして、これで 10 年、20 年大丈夫だといったものが、結局は実行できなかった現実もありますので、ごみの問題は避けて通れない非常に大事な問題なので、それだけに慎重に審議していく必要があります。</p>
委員	<p>資料を読んでごみの総排出量は減っているわけですね。なぜ減っているのかを考える必要があります。</p>
委員	<p>この問題は先ほど議論した、紙布の持ち去りの問題が考えられます。他のデータはほとんど横ばいという風になっているから、持ち去りの問題が総排出量の減少ということであろうかと思われれます。</p>
委員	<p>行田市の人口も横ばいだから、出るごみの総排出量も横ばいになると考えられます。それと以前計画していた焼却炉は排出ガスを削減するための機能を備えた焼却炉のはずでした。今の焼却炉はそれに対応していないわけです。だから一番本当に相応しいのは、ちゃんとした焼却炉を造ることが最大の目的だと思います。</p>

事務局	<p>それに対してどうしたらいいかということと、ごみの減量化という事ではないかと思えます。</p> <p>焼却炉が決まらない限りは、どういう方向で行くかは、決まりません。ただ、先ほど説明したとおり新しい焼却炉は大きいものになるか、小さいものになるか、わからない状態で進んでいます。その焼却炉が決まるまで 5・6 年は要するのではないかと考えられます。</p> <p>焼却炉は、ダイオキシン対策の関係で 800 度以上の温度で焼却します。ごみの減量化をすればごみの量は少なくなりますので、24 時間安定して焼却できなくなる。安定して焼却するためには広域化、4 から 5 市町でごみを集めて燃やさないという話になります。</p> <p>そういう話は、ここ数年の近隣の市町村合併の問題もあるので、すぐに進む状態ではないと考えられます。</p> <p>その中で行田市も先ほど申し上げましたが、新しい焼却炉ができれば、それに併せて収集も変わりますが、それも今難しい状態にあります。その中で今の状態で、市民からこのようにして欲しいとの意見がありますので、今後において、どういう方向でごみ処理をしていけばよいかを議論していただきたいと考えております。</p>
委員	<p>吹上、羽生等、他市町村との検討は完全に停止されているのですか。再開されるような事は無いのですか。</p>
事務局	<p>停止されています。一つは吹上町が鴻巣市と合併し、鴻巣市は吉見町に処理施設があります。加須市においては今合併とかあるので、その中で話が進むと思います。一つひとつははっきりしていないと行田市とやろうとか、他の市町村との話が進みません。その中で現状の炉をもたせながらやっていくためには、減量化ということが必要ではないかと。その関係でこれからどういう方向</p>

	<p>でという話が出ます。その途中で新しい炉に対する建設が決まりましたら、市民の方と話し合いが始まります。現状の炉のままでごみ質の変化や収集体制に対する要求とか、市としてはできるだけ市民サービスを考えて今後の方向性を出したいと、この先をどうするかという形で話を進めたいと考えています。</p> <p>生ごみの処理、焼却を市内全域でやると大掛かりな計画になってしまいます。資源ごみの回収のときもそうでしたが、街場の一地区と、周辺併せて、一日1トンから数トン毎日出れば、小さなプラントができます。これだと一年もあれば、建設着工まで持っていけます。そういったものでスケジュールからいって来年スタートして来年の後半には稼働できます。5年とか6年の間に何とかしなくてはならないのであれば、そういう前向きな形で話を持っていくこともできます。焼却ですと燃やすとCO₂を発生させてしまう。生ごみの処理ですとCO₂は発生しない。発酵させてメタンガスを発生させて、発電機を回す。メタンガスですからバイオマスで環境に優しいガスです。</p>
委員	<p>小針の焼却炉の耐用年数はどのくらいあると考えられますか。</p>
事務局	<p>行田市としてごみをどのように処理するかというと、今は小針の焼却場しかありません。その焼却炉をもたせることが必要です。</p> <p>新しい方向を考えると1年か、2年かけなければ方針が決まりません。そこから建築するまでに3年はかかるので、最低でも5年間は現状の炉を使うことが考えられます。その中でいろいろなごみの処理の方法を現状よりも良い方向に持っていこうということをお願いします。</p>
委員	<p>ごみの出し方自体を何か変える。今のような出し方でなくてということですか。</p>

事務局	<p>そうです。収集体制について例をあげると、不燃ごみの収集を2回にして欲しいとか、2回にするにあたっては、可燃ごみの収集を1回我慢するとか。市街化区域にあつては、週5日を4日にしますとか、そういう考え方もあります。これは一つの例ですが。市としてよい方法が取ればと考えています。又、違うものを資源ごみで収集できないかとも考えられます。</p>
委員	<p>ごみを有料化すれば、減ることは確かでしょうね。</p>
事務局	<p>有料化は難しい面もありまして、1・2年はごみは減りますが、その後リバウンドといって戻ってしまい、結局は同じ量になってしまいます。袋による有料化の場合は、一つの袋が重くなるだけ、隙間無く埋めるだけ、それでは有料化でごみは減りません。本当に資源として使うとか、ごみを出さないとか、ごみになるものを買わないとか根本的な対策が必要になります。</p>
委員	<p>諮問書では、ごみの減量化などが、大きな話になります。その割に資料が非常に大雑把です。資料は大変多いのですが、たとえば事業系はこのぐらいあって、家庭系はこのぐらいで、減量化するには事業系を減らしたほうがいいのか、家庭系を減らしたほうがいいのかわかりません。私の要望としては、資料をもう少し細かくしていただいて、減量化するには、ごみを出す量を減らす、分別を徹底することになってくるわけですが、その資料を次の開催が決まったときに当日渡されるのではなくて、事前に自宅に郵送していただいて、目を通してという形にしていただくと助かります。</p>
事務局	<p>今回は一回目ということで大雑把な資料になりましたが、次回はまだもう少し細かい資料を用意したいと思います。</p>
会長	<p>次回の日程を決めたいと思いますが、授業の都合等もありまし</p>

	<p>て出来れば火曜日にしたいので、7月21日か、28日にしたいのですが。28日という声が多いようなので、時間は今日と同じでよろしいですか。</p> <p>次回は28日の1時半ということでよろしくお願いします。</p>
委員	<p>生ごみ処理機を購入して使いましたが、非常に電気を使いますので、お休み中です。処理に半日はかかります。熱処理するので電気代もかかります。それを使うということはごみを出さなくていいかなと思いましたが、あまりにも電気代がかかりすぎるので、休業中です。</p>
委員	<p>田舎に住んでいますと生ごみはコンポストに入れて処理しています。生ごみを燃えるごみで出したことは一度もありません。</p>
会長	<p>これを持ちまして、今日の議長の職をおろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>閉会</p>